









実践教材・教具紹介一覧表





今治特別支援学校

番号	教材・教具名	紹介メモ
①	<p>体ポスター「かんとくん」</p> 	<p>【小学部】 生活単元学習「体のしくみ」で使用した。ポスターは3枚重なっており、1枚めくると筋肉、更にめくるとがい骨の姿となり、体の内部が分かりやすいようにした。また、裏返すと後ろ姿が見られる。</p>
②	<p>穴開けパンチ台</p> 	<p>【小学部】 穴開けパンチの印にプリントの中央をうまく合わせることが難しい児童が、プリントに穴を開ける際に使用した。厚紙でA4サイズのプリントに合わせた枠を作り、穴開けパンチを固定した。枠に合わせてプリントを穴あけパンチに挟みこむことで、適切な位置に穴を開けられる。</p>
③	<p>書見台</p> 	<p>【小学部】 国語でフラッシュカードを提示するために使用した。三角片の置き方を変えることで、角度の調節が可能である。教科書の音読や絵本の読み聞かせでも使用した。</p>
④	<p>着替えボード</p> 	<p>【小学部】 衣服を適切な順番で着脱する手掛かりとして、使用した。1つの行程が終わるとカードをひっくり返していき、全ての行程が終わると児童の好きなキャラクターが出てくるようにすることで、着替えボードを意識しやすいようにした。</p>
⑤	<p>指使い軍手</p> 	<p>【小学部】 鍵盤ハーモニカを正しい指遣いで演奏するための補助具として、音楽で使用した。軍手の指先に楽譜の指番号と対応する数字を書き、指遣いを意識しやすいようにした。</p>
⑥	<p>もぐらたたき</p> 	<p>【小学部】 生活単元学習「みんなであそぼう」で使用した。目と手の協応を養ったり、たたいたもぐらの点数を計算したりするために作成した。音楽を流したり、たたくと音が鳴るようにもぐらにベルを付けたりすることで、楽しく取り組めるようにした。</p>

⑦	<p>「マスクレンジャー」ポスター</p> 	<p>【小学部】</p> <p>生活単元学習「マスクを付けよう」で使用した。口からお腹の中に菌が入る様子をイラストで提示しながら説明し、口と鼻を覆うようにマスクを着用することの大切さを学習した。学習後は廊下に掲示し、他のクラスの児童生徒にもマスクの着用を呼び掛けた。</p>
⑧	<p>ヒモ通し</p> 	<p>【小学部】</p> <p>自立活動の時間における指導で使用した。ひもを通す穴の大きさを3種類、木の大きさを2種類作ることで、難易度を調整しながら学習することができた。中学部木工班に製作を依頼した。</p>
⑨	<p>「マスクをしよう」ペープサート</p> 	<p>【小学部】</p> <p>生活単元学習「せいけつにしよう」で使用した。菌を模したペープサートを操作して「マスクをしていないため口から菌が入って病気になる子ども」と「マスクをしているため菌が入らず元気な子ども」を表現し、マスクを着ける動機付けとした。操作しやすく、理解度に差がある学級でも楽しく学習できた。</p>
⑩	<p>アナログ時計の読み方</p> 	<p>【中学部】</p> <p>数学で使用した。時計の文字盤と時刻のカードには、それぞれマジックテープが付いているので取り外しが可能である。文字盤をカード見て正しい時刻カードを選んだり、時刻カードを見て正しい文字盤カードを選んだりする学習に使用した。</p>
⑪	<p>段ボール衣類畳み具</p> 	<p>【中学部】</p> <p>衣服を丁寧に畳むために、段ボールで製作した。衣類を線に合わせて広げて置き、1から3の順で段ボールを折り戻していくと、丁寧に畳めるようになっている。これを利用し、乱雑になりがちな衣装ケースの中を整理したり、畳みにくい給食着の畳み方の定着を促したりしている。</p>
⑫	<p>靴ひもちゃん</p> 	<p>【中学部】</p> <p>ひも通しやちょう結びの練習に使用している。穴を大きくしてひもを通しやすくしたり、色が違う2本のひもを使用したりすることで、ひも通しやちょう結びができるようになり、1本のひもを一人で結べるようになった。</p>

<p>⑬</p>	<p>書き順マスター</p> 	<p>【中学部】</p> <p>連絡帳を書くときに使用した。教科名などの漢字を、正しい書き順が分かるように、書き順を書き加えた大きなサイズのカードにした。毎日使用することで、どの文字も正しい書き順で書き写すようになった。</p>
<p>⑭</p>	<p>はさんでキャップ</p> 	<p>【中学部】</p> <p>ペットボトルのキャップの仕分け作業に、洗濯ばさみや負荷が掛かるクリップを使用した。指先の力が弱く、スカートを掛けるクリップ式のハンガーを一人で扱うことが難しい生徒が、指先の力を強化し、クリップを挟む動作を習得するために使用した。力の入れ方が分かるようになり、一人でスカートをハンガーに挟めるようになった。</p>
<p>⑮</p>	<p>信用表</p> 	<p>【中学部】</p> <p>適切な行動を執ることで、他者からの信用が上がることを視覚的に分かるように作成した。行動による信用度と併せて、その行動に対する本人と教員の気持ちの欄を設けて、他者からの信用が上がるとどんな気持ちになるのか、下がるとどんな気持ちになるのかなど、気持ちの変化も分かるようにしている。</p>
<p>⑯</p>	<p>ちょう結びマスター</p> 	<p>【中学部】</p> <p>紙媒体（平面）の手順書のみではちょう結びの手順が分かりにくいいため、スチレンボードに2色のひもを取り付けて、立体的に手順を提示した。実物を使うことで、ひもの位置や手の使い方などを確認できる。連絡帳ファイルの留め具を取り外してひもに付け替え、毎日、連絡帳を書きとじる際に使用している。</p>
<p>⑰</p>	<p>地図パズル</p> 	<p>【中学部】</p> <p>生活単元学習「愛媛県の魅力を伝えよう」で、身近な地域や市町村の様子に関する学習で使用した。東予、中予、南予にピースを分け、自分たちが住む東予は、ピースを他よりも厚くして強調した。大きな地図をパズルにすることで、興味を持って活動に取り組めた。また、繰り返し使うことができるため、復習や休み時間等の余暇活動としても使用した。</p>

<p>⑱</p>	<p>飛まつ<small>の</small>飛散距離を学ぶ君</p> 	<p>【中学部】</p> <p>生活単元学習「感染症について知ろう」で使用した。会話、咳、くしゃみをしたときに、飛まつがどれだけ飛ぶかを視覚的に分かりやすくするために作成した。穴を開けた口から着色した水を霧状に吹き、出た霧を飛まつと見立てて、飛まつ感染の予防に対する理解を深めた。</p>
<p>⑲</p>	<p>ほ場<small>じょう</small>図</p> 	<p>【高等部】</p> <p>作業学習（農業班）で使用した。季節によって栽培する作物が変化したり、栽培期間が異なったりするため、ほ場<small>じょう</small>（農作物を栽培する場所）内で栽培している作物が一目で分かるようにした。作物名はマジックテープでの着脱式となっている。畑に番号を付け、その日の作業を行う場所を確認するときに使用している。</p>
<p>⑳</p>	<p>アマビエ着ぐるみ</p> 	<p>【高等部】</p> <p>総合的な探求（学習）の時間（造形を主とした活動班）で、新型コロナウイルス感染症に関する学習の一環として制作した。顔部分をくり抜き、内側に持ち手を付けて着ぐるみにし、ソーシャルディスタンスを取って疫病退散を唱えながら校内を練り歩き、感染症予防を呼び掛けた。</p>
<p>㉑</p>	<p>校内実習（割り箸班）補助具</p> 	<p>【高等部】</p> <p>割り箸の袋入れの作業の際に、袋を破らずに入れるために使用した。力加減が難しい生徒も補助具を使用することで袋を傷付けることが減り、作業スピードが上がった。ラミネート加工をした紙製のものと木製のものがある。</p>
<p>㉒</p>	<p>校内実習（軽作業班）補助具</p> 	<p>【高等部】</p> <p>封筒の数を正確に数えるために使用した。全ての溝に封筒を入れると25枚を数えられるようになっている。数を数えることが苦手な生徒も、自信を持って仕事に取り組むようになった。10枚用もある。</p>

<p>⑳</p>	<p>校内実習（カレンダー班）補助具</p> 	<p>【高等部】</p> <p>カレンダー巻きの作業を行う際に使用した。筒に付けた紙の線に合わせてカレンダーを置いて巻き、先端に三角錐のコーンを付けてビニール袋に入れることで袋を傷付けることなくカレンダーを入れることができる。</p>
<p>㉑</p>	<p>キャンドル型作り補助具</p> 	<p>【高等部】</p> <p>キャンドルの型に使用するトイレットペーパーの芯を、一定の長さに切断するための印を付けるときに使用した。補助具の穴にマジックを入れて、トイレットペーパーの芯を回すことで、正確に印を付けることができる。穴を2箇所作ることで、一度に2個分の印を付けることができる。</p>
<p>㉒</p>	<p>付箋パッド作り補助具</p> 	<p>【高等部】</p> <p>背表紙の幅を均一にするために、付箋パッドの製作時に使用した。補助具に合わせて表紙用の厚紙を置き、厚紙の端に合わせてテープを貼った後、補助具に沿ってカッターを動かすことで、テープを適切な長さにまっすぐ切ることができる。段を付けることで、厚紙を合わせやすくなったり、カッターを動かしやすくなったりしている。</p>
<p>㉓</p>	<p>デスクシールド</p> 	<p>【高等部】</p> <p>生活単元学習「感染症を予防するためにできることって何だろう」で、コロナウイルス感染症対策としてデスクシールドを作成した。段ボールを組み合わせ、窓にはラップを使用した。マスクの着用によって皮膚炎が生じるなど、マスクの着用が難しい生徒が飛まつ防止対策として使用した。</p>